

留 学 報 告 書

記入日:2020年5月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: サンディエゴ州立大学 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月21日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月中旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万5千人以上
創立年	1897年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	明治大学に学費を支払い
宿舍費	8,969	843,585円	冬季休業中も住み込み可
食費	0	0円	宿舍費に食費は含まれる。
図書費	0	0円	
学用品費	300	30,000円	教科書代
携帯・インターネット費	300	30,000円	SIMカードと毎月の通信量費
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	約2,000	約200,000円	メキシコ、フロリダ、カナダへの旅行費
被服費	0	0円	
医療費	1,000	105,446円	渡航前の注射費とその英文証明書費
保険費	2,000	192,470円	形態:明治大学保険と現地大学の保険の合計
渡航旅費		245,400円	往復旅費
ビザ申請費		38,542円	
雑費	500	50,000円	部屋の備品、洗濯・乾燥機、散髪代等
その他	375	41,454円	寮の初期費用(敷金礼金)
その他		円	
合計	15,438	1,776,897円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田空港 目的地:サンディエゴ国際空港 経由地:	
復路 出発地:サンディエゴ国際空港 目的地:成田空港 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: JAL 料金: 144,000 円 復路 航空会社: JAL 料金: 101,400 円 ∴合計: 245,400 円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: エクスぺディア) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Cuiccali Tepayac) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
明治大学を通して配布されたキャンパス内寮の大学公式資料。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私は最初フラタニティという種類の男子学生寮に申し込んでいたのですが、明治大学の留学生にアドバイスをもらい他の寮に住むことになりました。現地に行ってみるとやはりフラタニティではパーティも多く、学業に集中できない環境であるという話もよく聞いたので、数多くある各寮の特性を理解してから申し込むことを強く勧めます。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
主に同じ寮に住んでいた友人と話すことでキャンパス周辺の情報収集に努めました。一人で、夜に、キャンパス外を歩くことは極力避けるようにしていました。危険な目には遭いませんでした。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
基本的には大学構内の wi-fi の接続が強く、不自由なく利用できました。しかしキャンパス外にいるときは、現地のスーパー(ウォルマート)で SIM カードを購入し、電話番号を取得することで生活していました。	
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?	
基本的にはクレジットカードで不自由なく過ごしていました。現金が必要な場合は日本で換金し、持ってきたものを使用していました。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
私の場合、カリフォルニアにいたこともあり現地で調達できないものはほぼありませんでした。日本食も豊富にあり、驚きました。あえて挙げるのであれば、現地通貨の現金は多めに持っていくことをオススメします。記憶が定かではありませんが、私は\$300~\$500 ほどであったため、現金が早い段階で底を尽きてしまいました。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なし		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
World Religions		世界の宗教
科目設置学部・研究科	Arts and Letters	
履修期間	2019 Fall semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回	
担当教授	S. L. Stewart	
授業内容	主要な宗教の導入的な内容について理解を深める。	
試験・課題など	毎週のクラス毎に 500 文字程度のショートエッセイ。中間試験と期末試験。	
感想を自由記入	教授がとても優しい方で質問にも丁寧に回答してくださいました。宗教について漠然とした興味があったり、これから世界の宗教と政治、社会との結びつきについて学びたい人には最適なクラスです。実際に次学期にアメリカの政治と宗教についてのクラスを履修した時には前提知識が役に立ちました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Cinema as Art		芸術としてのシネマ
科目設置学部・研究科		
履修期間	2019 Fall semester	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Stuart Voytilla	
授業内容	映画の鑑賞、表現・技法の分析	
試験・課題など	計 3 回のテスト、毎週鑑賞する映画に関するショートエッセイ又は分析(200~600 文字程度)	
感想を自由記入	この授業では大きなホールに 500 人程度の学生が集まり、映画を鑑賞します。教授は様々な名作を通して映画製作の際の特徴やその技法などを解説してくださいました。明治大学にはないクラスだと思い、履修しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Spanish I		スペイン語導入1	
科目設置学部・研究科	Department of Spanish and Portuguese		
履修期間	2019 Fall semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	言語(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が4回		
担当教授	Sarah Henderson		
授業内容	スペイン語文法・簡単な会話(自己紹介・時間・天気・規則動詞)		
試験・課題など	中間試験、期末試験の他に教科書各チャプター毎に確認小テスト。課題は毎日の教科書音読等。		
感想を自由記入	授業は全てスペイン語で行われました。明治大学で初級を一学期履修しただけだったのでかなり心配でしたが、先生に丁寧に教えていただきオフィスアワーも活用することができたので充実していました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese Special Study		日本語特別学習	
科目設置学部・研究科	Department of Linguistics and Asia/Middle Eastern Languages		
履修期間	2019 Fall semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	TA(Teaching Assistant)(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が4回		
担当教授	Momoko Arasaki		
授業内容	ひらがな・カタカナの音読、暗記。簡単な文法事項。		
試験・課題など	なし。		
感想を自由記入	TAとして現地大学の学生に日本語クラスのサポートをしていました。クラス内で日本語や日本文化を教えることで良い交友関係も生まれました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Spanish II		スペイン語導入2	
科目設置学部・研究科	Department of Spanish and Portuguese		
履修期間	2020 Spring semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	言語(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が4回		
担当教授	Adrián Calvillo Rojas		
授業内容	スペイン語文法・会話練習(規則過去形・不規則)		
試験・課題など	中間試験、期末試験の他に教科書各チャプター毎に確認小テスト。課題は毎日の教科書音読。		
感想を自由記入	(学期中盤3月20日頃にコロナウイルスの影響で緊急帰国し履修を取り消しました。)スペイン語にも慣れてきていました。それと同時に語彙の数や文法における動詞活用の多さに圧倒されてもいました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Culture and Society of Tijuana	ティファナの文化と社会
科目設置学部・研究科	Binational Center for Human Rights (Tijuana)
履修期間	2020 Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	フィールドトリップ (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Victor Clark-Alfaro
授業内容	サンディエゴのメキシコの国境都市になっているティファナについて、実際に足を運んで課外学習をする。
試験・課題など	試験は無く、エッセイ2枚(各8~10ページ)とブックレビュー2枚(各6~8ページ)が課された。
感想を自由記入	(学期中盤3月20日頃にコロナウィルスの影響で緊急帰国し履修を取り消しました。)この授業は留学生活の中でもかなり好きな授業でした。保険費や国境に行くまでの交通費で多少お金は掛かりましたが、毎週メキシコへ足を運び文化・社会を体感できたのはとても貴重でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Religion and American Institutions	宗教とアメリカの政治
科目設置学部・研究科	Arts and Letters
履修期間	2020 Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Roy Whitaker
授業内容	アメリカ合衆国における宗教と機関の関係。宗教分布等。
試験・課題など	学期中にテストが計3回。授業内容と時事的なニュースを用いた記事の作成する課題が計8つ。
感想を自由記入	(学期中盤3月20日頃にコロナウィルスの影響で緊急帰国し履修を取り消しました。)現在アメリカでの宗教分布や、宗教が政治的決定にどのような影響を及ぼすのかについてを学ぶ授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HTM 219 Hospitality, Recreation and Tourism Management	ホスピタリティ・レクリエーション・ツーリズムマネジメント
科目設置学部・研究科	Adams Humanities
履修期間	2020 Spring semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Sun-Ah Cynn-Ponting
授業内容	自分の興味がある分野の業界人に実際にインタビューを実施し、その産業についてプレゼンする。
試験・課題など	職業についての分析を行いエッセイに纏める(1000字)、インタビューの為に実際にメールを送ってみるなどの、プレゼンに対する準備が課題とされていた。
感想を自由記入	(学期中盤3月20日頃にコロナウィルスの影響で緊急帰国し履修を取り消しました。)この授業もとても実践的で気に入っていた授業の1つです。発展的な内容で、どのようにイベントや企画が作られていくのかを、実際に働いている人たちに話を聞きながら理解を深められるので内容の濃い授業でもありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	大学受験勉強
4月～7月	明治大学入学、英語学習(必修授業・オフィスアワー)
8月～9月	トロントに語学留学、TOEFL 対策
10月～12月	TOEFL 受験(計 2 回:67⇔83)、協定留学出願、サンディエゴ州立大学に留学決定。
2019年 1月～3月	英語学習の継続、サンディエゴ州立大学に書類を郵送等の事前申し込み
4月～7月	ビザ取得手続き、寮に申し込み、明治大学・現地大学の保険購入
8月～9月	予防接種、出国、秋学期開始
10月～12月	期末試験、冬季休業中の旅行(メキシコ・フロリダ・カナダ・ロサンゼルス)
2020年 1月～3月	春学期開始、新型コロナウイルスの影響で緊急帰国
4月～7月	明治大学 2020 年春学期から復学
8月～9月	就職活動・インターン
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学を志す人には2つのことを伝えたいです。まず1つは「大きな目標も持つとともに、それにとらわれない柔軟性も忘れない」ということです。目標を定め、それに向かって走り続けることは大切です。ですがそこに固執しないフレキシブルな姿勢もとってみてはどうでしょうか。わたしは留学中に新たな興味関心を見つけ、現在のゼミ活動にそれを生かしています。次に「留学は悩みを抱え、壁に当たるためにする」ということです。旅行に行くのではありません。自分の目標に向かっていく中で思いもよらないトラブルが起こるかもしれません。そういう時は成長するチャンスだと思い、行動してみましょう。

サンディエゴ州立大学について少しお話しします。数ある留学先の中でサンディエゴ州立大学を選んだのは大きく2つ理由があります。まずはアメリカ、カリフォルニア州最南端に位置しているということです。カリフォルニアはアメリカ内陸部に比べて多様な人種、民族の人が住んでいる州です。更にはメキシコとの国境都市でもあるということです。スペイン語を第二言語としている人も多くスペイン語学習に適していると耳にしていました。2つ目にサンディエゴの過ごしやすい気候です。欧州の国も選択肢にありましたが、アメリカ西海岸の良さといえばその気候にもあります。一年を通して乾燥し暖かい気候は日本よりもはるかに過ごしやすかったです。その他、サンディエゴで大変だったこと、寮での生活、とってよかった授業など挙げればきりが無いほどの話がありますが、ぜひ上記のメールアドレスに連絡をください。答えられる範囲内でお答えしたいと思います。